

## Q10 今後も継続して公共交通を維持していくための運賃設定「その他」の回答(記述)

- バスも路面電車もデマンドも全て残すというのは難しいのではないか。地域毎に残したいものを絞って現在の運賃を維持できるように協賛金や広告費など募れないか。町内会費用は地域住民負担である点から税金と大差ないと思います。
- 目的地に乗り換えで向かうことに慣れていない高知県人は、乗り換えがあるという時点で公共交通を選択肢から外す人も多いと思う。乗り換えなしであれば、運賃の上下が多少あっても、利用しようと思う層は一定数いると思う。
- そこそこ上げてもいいとは思うけど、上げると利用者減りそう。
- 運賃は交通会社が採算を取れる設定で良いと思います。ただ交通会社が行政に頼り過ぎるのでは無く、新しい事業を並行して行うなど、経営を黒字化する努力が無ければ一生、解決しない問題だと思います。
- 高齢者や低所得者の方たち向けにもう少し運賃を見直してはどうかと思う。
- 運賃の値上げも仕方ないが、免許返納した人や学生には割引や何かの制度は必要と考える
- 飛行機や新幹線のように時間帯別・時期別運賃を導入することで、混雑緩和と利用促進につながると考えます。
- 便利になれば利用したい。道順などわからないので。帰りの便も、わからない。
- 運賃の値下げはせず、現在の運賃を維持し、割引制度の充実により、利用促進をするべき。
- 値上げは必要と思われるが、値上げ幅に注意を。「仕方ないよね」と思える幅でない。
- 感覚的に300円まで(200円台)なら許容範囲よ思える。
- すべて、SuicaやICOCA利用ができるようにしてほしい
- 自由記述)運賃もさることながら、利便性がなければ利用しません。通学時間に学校前までのルートの確保や、深夜宴会帰りの客が使える便を走らせるなど。
- 広告を増やす
- よくわからないけど、解決策はないのでは？

## Q11 運転手不足の進行により路線バス、路面電車、デマンド型タクシーでの運行が困難となった場合の代替移動手段として期待できるもの「その他」の回答(記述)

- 歩ける人はとにかく歩くのみ。人間の基本に立ち返る。
- 民間ライドシェアを行うならば、もっと市や県が市民、県民に分かりやすく、利用する側、運営する側のガイドラインを作って、広めたり、説明を行う事だと思います。
- 運転手は市役所や県の職員が指導を受けて、交代で運転していく。運転手の業務について、学校や職場で知る機会を増やしていく
- 自分の車
- 高齢者には料金が上がると利用しにくくなるなど、対象によって抱える問題が違う為何がいいとはいいい難い
- 自動運転バスが良いが多額の税金投入を伴うようだが現在も多額の税金を投入して公共交通を維持しているのだから思い切って全て自動運転バスに切り替えてはどうでしょうか
- 春野運動公園にいくのに、乗り合いタクシーがあり、とても助かった。乗り合いタクシー～はありがたいなあと思った。